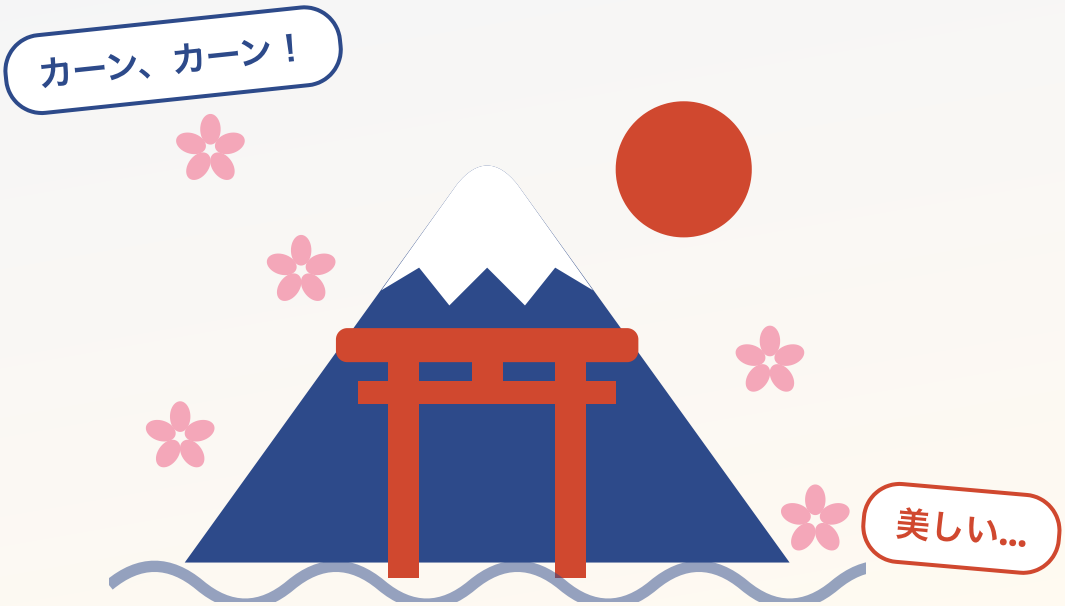
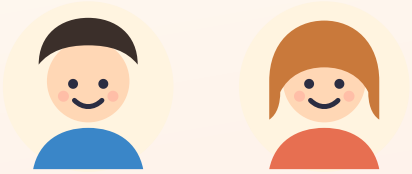
Season 5 | No.46



刀と金工

光る刃と、たたく音から学ぶ



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 **見て・ふれて・感じる**
写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2 **「なぜ？」を考える**
行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3 **「やってみよう」で体験する**
答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken（ケン）
日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

刀のひみつ 3〜10
金工の技 11〜16
刃物の文化 17〜19
刀と金工を訪ねる 20〜21
見て・体験する 22
おさらい 23〜24
まとめの練習 25〜27
ふり返り 28〜30

Lesson 1

日本刀ってなに？

日本刀は、美しさと機能を兼ね備えた、日本独自の刃物です。

日本刀とは、日本で古くからつくられてきた、**反りのある片刃の刀**です。
もともとは武器として生まれましたが、今では美術品・工芸品として大切にされています。



刀の3つの顔

武器　美術品　工芸品

時代とともに、刀に求められる役割は少しずつ変わってきました。

ポイント

- 刀身の美しい曲線と、表面にうかぶ模様が大きな魅力です。
- 現在の日本で刀を持つには、登録が必要です。

やってみよう

1. 写真で日本刀を見て、気づいたことを書こう。

2. 刀は「武器」と「美術品」、どちらのイメージが強いですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント　日本刀は教育委員会に登録された「登録証」とともに所有します。だれでも自由に持ち歩けるわけではありません。

書いて覚えよう

Lesson 2

日本刀の歴史

刀の形は、時代とともに少しずつ変わってきました。

直刀
ちょくとう
まっすぐな刀身の刀
古代

彎刀
わんとう
反りのある刀へ変化
平安〜鎌倉時代

美術刀
びじゅつとう
美術品としての刀
江戸〜現代

Emma
刀って、はじめはまっすぐな形だったの？



Ken
そうみたい。だんだん反りが生まれて、今の形に近づいたんだって。

ポイント

- 平安時代のころから、刀身に反りが生まれたといわれています。
- 江戸時代には戦いが減り、美しさを重視した刀もつくられるようになりました。

やってみよう

1. 3つの時代の刀の形を見くらべて、ちがいを書こう。

2. 1876年に、武士以外が刀を身につけることを禁止した法律を何という？

書いて覚えよう

Lesson 3

刀のつくり方

1本の刀は、何度も鍛えられてできあがります。

鍛える

きたえる／forge

金属を熱して、たたいてきたえること

折り返し鍛錬

おりかえしたんれん

鉄を折りたたみながら打つことをくり返す技法

ポイント

- 熱した鉄を打っては折りたたむ作業を何度もくり返し、不純物を取りのぞきます。
- この作業によって、じょうぶでねばりのある鋼になります。
- 刀の形にしたあと、焼き入れという工程で刃を仕上げます。

やってみよう

1. 紙を何度も折りたたむと、どれくらい厚くなるか試してみよう。
2. 鉄を何度も折りたたむ理由を、自分の言葉で書こう。

ワンポイント 折りたたむ回数が多いほど、鉄の層は何層にも重なっていきます。

書いて覚えよう

Lesson 4

たたら製鉄

日本刀の材料は、昔ながらの方法で作られています。

玉鋼

たまはがね／tamahagane

たたら製鉄で作られる、刀の材料になる鋼

たたらの材料

砂鉄　木炭　粘土の炉

砂鉄と木炭を炉に入れ、火を入れ続けることで玉鋼ができます。

ポイント

- 「たたら」とは、砂鉄から鉄を作る日本古来の製鉄方法です。
- 中国地方を中心に、今も伝統的な方法で玉鋼が作られています。

やってみよう

1. 砂から鉄ができると聞いて、どう感じましたか。

2. 玉鋼が使われるものを、刀のほかに1つ考えてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 5

刀の各部

刀は、いくつもの部品が組み合わさってできています。

刀身
刃のついた金属の本体部分

鍔（つば）
柄と刀身のあいだにある丸い板

柄（つか）
手でにぎる部分

鞘（さや）
刀身を包んで保護するもの

ポイント

- 刀身以外の部品は、木・金属・漆などさまざまな材料でできています。
- 鍔には、持ち主の好みを表すこまかい模様がほどこされることもあります。

やってみよう

1. 4つの部品のうち、いちばん興味があるのはどれですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. その理由を書こう。

書いて覚えよう

Lesson 6

刀の美しさ

刀の表面には、自然にできる美しい模様があります。

刃文

はもん／hamon

刃のふちにあらわれる、白くうねった模様

地肌

じはだ／jihada

刀身の表面にうかぶ、木目のような模様

ポイント

- 刃文は、焼き入れのときの熱の伝わり方によって、1本ごとにちがう表情になります。
- 地肌は、折り返し鍛錬によってできる、鋼の層の模様です。

やってみよう

1. 刃文や地肌の写真を見て、どんな模様に見えるか書こう。

2. 同じ模様の刀は2本とないといわれる理由を考えよう。

ワンポイント 刃文には、まっすぐなものや波のようにうねるものなど、いくつもの種類があります。

書いて覚えよう

Lesson 7

刀の手入れ

刀は、こまめな手入れで美しさを保ちます。

打粉
うちこ
刀身の古い油を取るために打つ、細かい粉

丁子油
ちょうじあぶら
さびを防ぐために刀身にぬる専用の油

ポイント

- 古い油を打粉で取ったあと、新しい油をうすくぬってさびを防ぎます。
- 湿気の多い場所は、さびの原因になるためさけます。

やってみよう

1. 身近な道具で「手入れが必要なもの」を1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 手入れをすることの良い点を書こう。

ワンポイント 刀は刃物です。実物にふれる機会があっても、必ず大人といっしょに、指示にしたがって扱いましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 8

刀の職人

1本の刀は、多くの職人の手を経てできあがります。

刀鍛冶
鉄を鍛えて刀身をつくる職人

研ぎ師
刀身を研いで仕上げる職人

鞘師
鞘をつくる職人

柄巻師
柄に糸を巻く職人



Emma
1本の刀を、1人で全部作るわけじゃないんだね。



Ken
うん。それぞれの職人が専門の技をもち寄って、1本の刀が完成するんだよ。

ポイント

- それぞれの工程に専門の職人がいて、力を合わせて1本の刀を仕上げます。
- 分業によって、それぞれの技がより深められてきました。

やってみよう

1. 4人の職人のうち、いちばんやってみたい仕事はどれですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 9

金工ってなに？

金工とは、金属を加工してつくる工芸のことです。

金工とは、**金属を材料にした工芸**のことです。
刀づくりの技術ともつながりが深く、鍋・仏具・置物など、暮らしの中のさまざまな品が金工で作られています。



金工の主な技法

鍛金（たんきん）　鋳金（ちゅうきん）　彫金（ちょうきん）

たたく・流しこむ・彫る、それぞれちがう方法で金属を形にします。

ポイント

- 金工には、実用品づくりと、美術品づくりの両方があります。
- 産地ごとに、得意な技法や金属の種類がちがいます。

やってみよう

1. 家の中にある金属の道具を3つ書こう。

書いて覚えよう

Lesson 10

鉄器（南部鉄器）

鉄でできた道具は、使うほどに味わいが出ます。

南部鉄器

なんぶてっき

岩手県盛岡市周辺で作られる、伝統的な鉄製品

ポイント

- 南部鉄器は、鉄びんや急須（きゅうす）が有名です。
- 鉄びんでお湯をわかすと、お湯がまろやかになるといわれています。
- 近年は、カラフルなデザインの鉄びんが海外でも人気です。

やってみよう

1. 鉄びんでわかしたお湯を飲んだことがありますか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 家にある鉄製の道具をさがしてみよう。

ワンポイント 鉄器を使うときは、金属が熱くなるので、やけどに気をつけましょう。

書いて覚えよう

Lesson 11

銅器

銅は、あたたかみのある色とやわらかさが特徴です。

高岡銅器

たかおかどうき

富山県高岡市で作られる伝統的な銅製品

ポイント

- 高岡銅器は、仏具や花びん、置物などに使われています。
- 銅は加工しやすく、時間がたつと味わいのある色に変化していきます。

やってみよう

1. 銅でできているものを、身のまわりでさがしてみよう。

2. 銅の色は、時間がたつとどう変わると思いますか。

書いて覚えよう

Lesson 12

錫器

錫（すず）は、やわらかく加工しやすい金属です。

錫器

すずき

錫を使ってつくられた器や道具

ポイント

- 錫は金属の中でもやわらかく、手で少し曲げて形を変えられる製品もあります。
- 錫の器に入れた水やお酒は、まろやかになるといわれています。

やってみよう

1. やわらかい金属と聞いて、他にどんな使い方ができそうか考えよう。

ワンポイント 錫は変化しやすい金属なので、専用の道具や技法で丁寧に加工されます。

書いて覚えよう

Lesson 13

打ち物

金属をたたいて形をつくる技法があります。

鍛金

たんきん

金属を熱してたたき、形をつくる技法



Ken

1枚の金属の板を、たたいてお鍋の形にしていくんだって。

Emma

型に流しこむんじゃなくて、たたいて形をつくるんだね。



ポイント

- 1枚の金属板を、少しずつたたいて立体的な形に仕上げていきます。
- たたくことで金属がしまり、じょうぶな仕上がりになります。

やってみよう

1. 打ち物でつくられていそうな道具を1つ考えよう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 14

鋳物

とかした金属を型に流しこんでつくる技法もあります。

鋳金

ちゅうきん

とかした金属を型に流しこんで形をつくる技法

ポイント

- 高温でとかした金属を、あらかじめ作った型に流しこんで冷やし固めます。
- 同じ形の製品を、くり返し作ることができます。
- 南部鉄器の鉄びんも、鋳物の技法で作られています。

やってみよう

1. 打ち物と鋳物、どちらの技法が向いていそうか、鍋とスプーンで考えよう。

ワンポイント 型を作る工程にも、細かい模様をきざむ高い技術が必要です。

書いて覚えよう

Lesson 15

包丁の文化

刀づくりの技術は、包丁にも受けつがれています。

堺打刃物

さかいうちはもの

大阪府堺市で作られる伝統的な包丁

ポイント

- 堺の包丁づくりは、刀づくりと同じように、鍛冶・研ぎなどの分業で行われます。
- 切れ味の良さから、世界中の料理人に使われています。

やってみよう

1. 家の包丁の産地を、家の人に聞いてみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 切れ味の良い包丁の良さを書こう。

ワンポイント 包丁は刃物です。使うときや観察するときは、必ず大人といっしょに気をつけて扱いましょう。

書いて覚えよう

Lesson 16

はさみと刃物

はさみにも、金工の技術が生きています。

播州刃物

ばんしゅうはもの

兵庫県で作られる、はさみなどの伝統的な刃物

ポイント

- 刀や包丁で使う鍛冶の技術は、はさみや鎌など、さまざまな刃物にも使われています。
- 用途に合わせて、刃の厚さや角度が工夫されています。

やってみよう

1. 家にあるはさみの種類を数えてみよう。
2. 刃物ごとに形がちがう理由を考えよう。

書いて覚えよう

Lesson 17

刃物の産地

日本各地に、刃物づくりで知られる産地があります。

産地	都道府県	よく作られるもの
関の刃物	岐阜県	包丁・はさみ
越前打刃物	福井県	包丁・鎌
土佐打刃物	高知県	刃物・農具

ポイント

- 刃物の産地の多くは、もともと刀づくりがさかんだった地域です。
- 地域によって、得意な刃物の種類がちがいます。

やってみよう

1. 3つの産地のうち、行ってみたい場所を1つえらぼう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 18

金工を見に行こう

刀や金工の作品は、いろいろな場所で見ることができます。

博物館・美術館

刀剣や金工の作品が展示されている

神社

刀が奉納されていることがある

工芸館

産地の工房を見学できることがある

お祭り・イベント

刀剣や金工にふれる催しが開かれることがある

ポイント

- 博物館では、ガラス越しに間近で刀身の模様を見ることができます。
- 地域の工芸館では、職人の実演を見られることもあります。

やってみよう

1. 近くで刀や金工の作品が見られる場所を調べてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 19

金工の魅力

金工には、機能と美しさが両方つまっています。

ポイント

- 刀や金工の道具は、使う人の安全や使いやすさを考えてつくられています。
- そのうえで、模様や色などの美しさも大切にされています。
- 長く使うほど味わいが増すことも、金工の魅力の1つです。



Emma
刀って、こわいイメージだったけど、美術品なんだね。



Ken
うん。今の刀は、人を守るためじゃなくて、美しさを伝えるためのものなんだよ。

やってみよう

1. 刀や金工の魅力を、自分の言葉で1文にまとめよう。

書いて覚えよう

Lesson
20-21

写真や実物を見てみよう・体験してみよう

見て、ふれて、金工のことをもっと知ろう。

刀身の模様
写真で刃文や地肌をよく見てみよう

博物館の展示
実物の大きさや重さを感じてみよう

南部鉄器のお店
手ざわりや色を見くらべてみよう

ポイント

- 写真だけでなく、実物を見ると、大きさや重さの実感がわきます。
- 家にある金属の道具でも、鍛金・鋳物のどちらで作られたか考えてみましょう。

やってみよう

1. 家にある鉄・銅・錫の道具を1つずつさがしてみよう。

2. 博物館や工芸館に行けたら、印象に残ったことを書こう。

ワンポイント 美術館や博物館では、展示品に手をふれないのがマナーです。よく見て、感じたことを言葉にしてみましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 22-23

由来と意味をおさらい・地域によるちがい

刀と金工の由来と、地域のちがいを確認しよう。

ポイント

- 刀は武器として生まれ、今は美術品・工芸品として受けつがれています。
- 金工の技術は、刀づくりから、鍋や仏具など暮らしの道具へも広がりました。

地域	特色ある金工
岩手県	南部鉄器（鉄びん・急須）
富山県	高岡銅器（仏具・置物）
大阪府	堺打刃物（包丁）

やってみよう

1. 刀と金工がつながっていることを、自分の言葉で説明しよう。

書いて覚えよう

Lesson 24-25

昔と今をくらべよう・よくある疑問

昔と今のちがいや、よくある疑問を確認しよう。

昔

武器としての刀

戦いのための道具
強さや実用性を重視

武士が身につける
身分を表すもの

今

美術品としての刀

登録して所有する
美しさや技を重視

博物館などで見る
だれもが鑑賞できるもの

よくある疑問

1. Q. 今の日本で、自由に刀を作って持てるの？ → A. 登録や許可が必要で、自由には持てません。
2. Q. 金工はすべて手作業なの？ → A. 手作業が中心ですが、道具や工程の一部に機械を使うこともあります。

やってみよう

1. ほかに知りたい疑問があれば書こう。

書いて覚えよう

Lesson
26-27

マナーと注意点・用語をおさらい

刃物を扱うときの注意と、言葉を確認しよう。

ポイント

- 刀や包丁など刃物の実物は、必ず大人といっしょに、指示にしたがって扱いましょう。
- 博物館の展示品には手をふれず、静かに鑑賞しましょう。
- 熱した金属を扱う体験は、やけどに注意しましょう。

刀の言葉

☐ **刃文**

刃のふちの模様

☐ **地肌**

刀身表面の模様

金工の言葉

☐ **鍛金**

たたいて形をつくる技法

☐ **鋳金**

型に流しこむ技法

書いて覚えよう

Lesson 28

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

刃文	●	● ア. 型に流しこんで形をつくる技法
玉鋼	●	● イ. 岩手県で作られる伝統的な鉄製品
鍛金	●	● ウ. たたら製鉄で作られる鋼
鋳金	●	● エ. 刃のふちにあらわれる模様
南部鉄器	●	● オ. たたいて形をつくる技法

2. 空らんに入る言葉を書こう

1. たたら製鉄で作られる、刀の材料になる鋼を＿＿＿＿＿＿＿＿という。
2. 金属をたたいて形をつくる技法を＿＿＿＿＿＿＿＿、型に流しこんでつくる技法を＿＿＿＿＿＿＿＿という。

書いて覚えよう

Lesson 29

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	刀の主な部品を言える	刀身・鍔・柄・鞘
☐	刃文と地肌のちがいを説明できる	刀の美しさ
☐	鍛金と鋳金のちがいを説明できる	金工の技法
☐	刃物を扱うときの注意点を言える	安全への意識

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。

書いて覚えよう

Lesson
30-31

家族や友だちに話してみよう・英語で紹介してみよう

刀と金工のことを、まわりの人に伝えてみよう。

伝えたい相手

紹介するもの

いちばん伝えたいこと

Ken の例

伝えたい相手 弟／紹介するもの 南部鉄器の鉄びん／いちばん伝えたいこと お湯がまろやかになること

Japanese sword

ジャパニーズ ソード

日本刀

metalwork

メタルワーク

金工

書いて覚えよう

Lesson 32-33

もっと知りたい人へ・学んだことをまとめよう

刀と金工の世界を、これからも広げていこう。

もっと知りたい人へ

博物館で
刀剣や金工の展示を見る

産地へ
南部鉄器や高岡銅器の工房を調べる

次に学べること

陶磁器
土から生まれる工芸

木工・竹細工
木や竹の工芸

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 刀と金工に共通する魅力は何ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん心に残ったことは何ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 34

刀と金工チャレンジ

身近な金属の道具にも、目を向けてみよう。

さがそう

家にある**鉄・銅・錫**の道具を見つける

調べよう

自分の住む地域に**金工の産地**がないか調べる

伝えよう

刀と金工の魅力を**家族に**話す

こたえ

L2 廃刀令

L28 刃文→エ 玉鋼→ウ 鍛金→オ 鋳金→ア 南部鉄器→イ　2. 玉鋼 ／ 鍛金 ／ 鋳金

L32-33 （例）刀は武器から美術品へと役割を変え、金工の技術は今も暮らしの道具に生きている。

書いて覚えよう

刀と金工（Season 5 ｜ No.46）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。